

館蔵 春の優品展  
名品を彩る  
アンティーク・テキスタイル

二〇二六年四月七日(火)―五月十日(日)

MASTERPIECES OF ASIAN ART FROM THE GOTOH MUSEUM COLLECTION.  
ANTIQUÉ TEXTILES, CALLIGRAPHY AND CERAMICS.

7th April through 10th May, 2026.  
Closed every Monday (8th May open) and 7th May.  
Museum hours 10:00AM-5:00PM.  
Five minutes walk from Kaminogae station, Tokyo Oimachi line.

THE GOTOH MUSEUM  
URL=https://www.gotoh-museum.or.jp/

◆特別展示Ⅱ 国玉源氏物語絵巻 御虫・御虫・御虫  
二〇二六年四月十九日(水)祝―五月六日(水) 鑑

◆協賛Ⅱ 東急グループ  
休館日Ⅱ 毎月曜日(五月四日(日)休館、五月七日(水))  
開館時間Ⅱ 午前10時―午後5時(入館は午後四時(午後4時)まで)  
入館料Ⅱ 一般1,000円・高大学生800円・中学生以下無料  
チャリティークラウドファンディングの申し込みは、お早めに。  
◆会期Ⅱ 一部展示替あり。本展は、当館では最高級展示です。  
◆展示替のため休館日Ⅱ 二〇二六年五月十日(日)、五月十一日(月)、五月十二日(火)を休館とさせていただきます。  
◆お問い合わせは、本展の専用ダイヤル03-5701-1860(受付時間:10:00-18:00)または、本展の専用ダイヤル03-5701-1860(受付時間:10:00-18:00)までお問い合わせください。

五島美術館  
東京・大森町緑上野毛駅下車徒歩5分 電話03-5701-1860

PRESS  
RELEASE

「館蔵 春の優品展 名品を彩るアンティーク・テキスタイル」では、書画、茶道具の名品と、それを彩る表具裂や仕覆(袋)の織物の魅力までも楽しむ日本独自の鑑賞文化に焦点をあてます。現代の鑑賞視点では見逃しがちな作品に付属する染織類。それらはどこから来てどのように選ばれたのでしょうか。古裂蒐集家の渋谷玉恵氏による更紗作品の寄贈を記念し、名物裂と更紗の手鑑を一堂に揃え、書画や茶道具の名品とともに表具裂や仕覆、袱紗、包み裂、袋物などを展示。華やかで国際色豊かな染織鑑賞の世界を紹介します(会期中一部展示替あり)。

### 更紗と名物裂

大航海時代に渡来した鮮やかな木綿染めのインド更紗は、鮮烈でエキゾチックな文様がだいに好まれ、日本文化に多大な影響を与えました。その一方、室町時代を中心に舶来した金襴・緞子・間道などの上質な絹織物は名品に付属し、江戸時代にはその由緒とともに「名物裂」として文様に固有名詞を付けて鑑賞されました。このような江戸時代の古裂ブームは、大名家や数寄者、そして文化人たちが「裂手鑑」を制作し、鑑賞や真贋の資料とするほどでした。

五島美術館

今回の展覧会のおすすめ品



さらき づくしぬいあわせかみいれ  
**更紗尽縫合紙入**

(本体)木綿製 (留金)金属/一個 縦13.0cm 横21.0cm  
江戸時代・19世紀 【裂】インド・17～18世紀 五島美術館蔵(渋谷玉恵氏2025年寄贈)

「古渡り更紗」と称される17世紀から18世紀のインド製更紗24片を見事に組み合わせた洒落た紙入。江戸時代には更紗の文様によって「五徳手」「いちご手」「霜降手」「有平縞」など、文様に名称を付けて楽しみました。このような貴重な舶来染織を多数継ぎ合わせた用例は、服飾や名物茶道具の包み裂などにも見られ、所有者のコレクション自慢と遊び心を伝えます。



しゅんぎゅうず だんかん  
**重要文化財 駿牛図断簡**

紙本着色/一幅 (本紙)縦31.5cm 横32.4cm  
鎌倉時代・13世紀 【一文字・中廻し】明～清時代・17～19世紀 五島美術館蔵

鎌倉時代、理想化を加えず似せることを目的に描く似絵が流行しました。本作は、似絵に近い手法を用いながら、立派な牛(駿牛)の姿を写し描いています。額の小円や、黄土色の後ろ蹄など、モデルとなった牛の個性をとらえ、グラデーションで立体感を表した逞しい姿、繊細な毛並みの描写も見事です。本紙の上下を彩る表具裂は黄金色に輝く金地金欄、その周りは朱珍と称される錦を取り合わせ、名牛を際立たせています。



あおがい ほていこうごう  
**青貝布袋香合**

漆器/一合 高2.5cm 径7.2cm  
明時代・16～17世紀 【仕覆・挽家袋】インド・17～18世紀 五島美術館蔵

「青貝」とは、夜光貝などの貝片を嵌め込む装飾(螺鈿)の呼称。布袋が微笑を浮かべて数珠を繰り、袋に寄りかかって座る姿を表し、周囲には宝尽文を散らしています。小堀家から、三井家、酒井家など大名や豪商が所蔵した名品です。そのことを表すように香合を収納する挽家は二点もあり、それぞれ阿蘭陀木綿と茜地の木綿縞の袋に入っています。その他にも珍しい舶来品で詠えた仕覆や風呂敷が付属しており、深い愛玩を伝えています。



はくあんちかかん めい ふゆき  
**重要美術品 伯庵茶碗 銘冬木**

陶器/一口 高8.8cm 口径16.0cm 高台径6.0cm 重414.7g  
江戸時代・17世紀 【包み裂】インド・17世紀 五島美術館蔵

「伯庵茶碗」とは、徳川将軍家に仕えた医者曾谷伯庵(1569～1630)が、「本歌伯庵茶碗」(個人蔵)を所持していたという伝承からついた名称です。作風には、胴部に施された海鼠釉、枇杷色の釉薬などの特徴があります。「冬木」の銘は江戸時代の豪商冬木屋喜平次(あきひら)の所持にちなみます。雲州松平家伝来の本品には、木綿に矢縞文と愛らしい蔓小花を段々に表した「段サラサ」文のインド更紗の包み裂が付属しています。



さらき てかみ  
**更紗手鑑(I)**

木綿/一帖 (表紙)縦38.0cm 横50.0cm 【裂】主にインド・17～19世紀 五島美術館蔵(渋谷玉恵氏2015年寄贈)

古裂蒐集家の渋谷玉恵氏が蒐集した計240点余りの鮮やかなインド更紗を貼付した大形の裂手鑑。江戸時代の更紗図集『佐羅紗便覧』・『増補華布便覧』に掲載される文様と一致するものも貼付され、上質の更紗で構成されています。これらは服飾・茶道具の仕覆・包み裂などに使用されました。古い時代の更紗は小さな裁ち余り裂さえも大事にされ、現代もその鑑賞文化は継承されています。

主な展示予定品（会期中一部展示替があります）

\*展示予定期間〈前期〉=4月7日〔火〕—4月19日〔日〕／展示予定期間〈後期〉=4月21日〔火〕—5月10日〔日〕

＜絵画＞			
麻布山水図		奈良時代・8世紀	五島美術館蔵
過去現在絵因果経断簡(益田家本) 耶舎長者出家願図		奈良時代・8世紀	五島美術館蔵
重要文化財 沙門地獄草紙断簡(益田家本甲巻) 火象地獄図	〈前期展示予定〉	平安時代・12世紀	五島美術館蔵
重要文化財 佐竹本三十六歌仙絵 清原元輔像	〈前期展示予定〉	鎌倉時代・13世紀	五島美術館蔵
重要文化財 上畳本三十六歌仙絵 紀貫之像	〈後期展示予定〉	鎌倉時代・13世紀	五島美術館蔵
重要文化財 駿牛図断簡	〈前期展示予定〉	鎌倉時代・13世紀	五島美術館蔵
重要文化財 前九年合戦絵巻断簡 帰順願図	〈後期展示予定〉	鎌倉時代・14世紀	五島美術館蔵
重要文化財 梅花小禽図 伝 馬麟筆	〈後期展示予定〉	南宋時代・13世紀	五島美術館蔵
＜書跡＞			
蝶鳥下絵法華経断簡 伝 光明皇后筆		平安時代・11世紀	五島美術館蔵
関戸本古今集切 伝 藤原行成筆		平安時代・11世紀	五島美術館蔵
関戸本和漢朗詠集切 伝 藤原行成筆		平安時代・11世紀	五島美術館蔵
重要美術品 唐紙和漢朗詠集切 伝 藤原公任筆	〈前期展示予定〉	平安時代・12世紀	五島美術館蔵
通切 伝 藤原佐理筆	〈後期展示予定〉	平安時代・12世紀	五島美術館蔵
重要文化財 南浦紹明墨跡 法語	〈前期展示予定〉	鎌倉時代・徳治二年(1307)	五島美術館蔵
重要文化財 希叟紹曇墨跡 達磨祖師賛	〈後期展示予定〉	南宋～元時代・13世紀	五島美術館蔵
重要文化財 即休契了墨跡 餞別偈		元時代・14世紀	五島美術館蔵
＜茶道具＞ *仕覆替あり			
重要美術品 伯庵茶碗 銘 冬木		江戸時代・17世紀	五島美術館蔵
重要美術品 井戸茶碗 銘 美濃		朝鮮時代・16世紀	五島美術館蔵
熊川茶碗 銘 千歳		朝鮮時代・17世紀	五島美術館蔵
亀甲蒔絵棗		室町時代・16世紀	五島美術館蔵
重要美術品 唐物文琳茶入 銘 本能寺		南宋時代・13世紀	五島美術館蔵
唐物円座肩衝茶入 銘 利休円座		南宋時代・13世紀	五島美術館蔵
唐物大海茶入 銘 稲葉大海		南宋時代・13世紀	五島美術館蔵
唐物文琳茶入 銘 吹上		南宋時代・13世紀	五島美術館蔵
瀬戸瓢形茶入 銘 春慶瓢箪		桃山時代・17世紀	五島美術館蔵
青貝布袋香合		明時代・16～17世紀	五島美術館蔵
白呉州台牛香合		明時代・17世紀	五島美術館蔵
＜煙草入・小物入ほか＞			
獅子草花文金華布煙草入		江戸時代・18～19世紀 [裂] 17世紀	五島美術館蔵(渋谷玉恵氏寄贈)
更紗尽縫合紙入		江戸時代・18～19世紀 [裂] 17～18世紀	五島美術館蔵(渋谷玉恵氏寄贈)
更紗小物入		江戸時代・18～19世紀 [裂] 18世紀	個人蔵
茜地花唐草文更紗(VOC印)		インド・19世紀	個人蔵
幾何学文経緯絹緋(パトラ)古袱紗		インド・19世紀	個人蔵
菱繋花幾何学文経緯絹緋(パトラ)		インド・19～20世紀	五島美術館蔵
＜裂手鑑＞ *帖替・頁替あり			
名物裂手鑑		昭和時代・20世紀 [裂] 13～19世紀	五島美術館蔵
切鏡		江戸時代・18世紀 [裂] 15～18世紀	五島美術館蔵(渋谷玉恵氏寄贈)
名物切鑑		江戸時代・18世紀 [裂] 15～18世紀	五島美術館蔵(渋谷玉恵氏寄贈)
古渡り更紗手鑑		[裂] 17～19世紀	五島美術館蔵(渋谷玉恵氏寄贈)
更紗手鑑(Ⅰ)(Ⅱ)		[裂] 17～19世紀	五島美術館蔵(渋谷玉恵氏寄贈)
西欧更紗手鑑		[裂] 17～19世紀	五島美術館蔵(渋谷玉恵氏寄贈)
■特別展示 *展示予定期間=2026年4月29日〔水・祝〕—5月6日〔水・振〕			
国宝 源氏物語絵巻 鈴虫一・鈴虫二・夕霧・御法		平安時代・12世紀	五島美術館蔵

# [館蔵] 春の優品展 名品を彩るアンティーク・ テキスタイル

MASTERPIECES OF ASIAN ART FROM THE GOTOH MUSEUM  
COLLECTION: ANTIQUE TEXTILES, CALLIGRAPHY AND CERAMICS.

2026年4月7日[火]—5月10日[日]

- 協賛=東急グループ
- 休館日=毎月曜日(5月4日は開館)、5月7日[木]
- 開館時間=午前10時—午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 入館料=一般1100円/高・大学生800円/中学生以下無料
- 交通=東急大井町線(各駅停車)「上野毛駅」(かみのげ)下車徒歩5分



重要文化財 南浦紹明墨跡 法語



名物裂手鑑(部分)



特別展示

【国宝】源氏物語絵巻  
鈴虫一・鈴虫二・夕霧・御法

2026年4月29日[水・祝]—5月6日[水・振]

## 〈ギャラリートーク〉

当館学芸員によるスライドを交えた展示作品に関わる解説  
五島美術館別館講堂 当日入館者聴講無料 椅子席100名先着順  
当日の正午より受講整理券を配布します。

## 「名品を彩るアンティーク・テキスタイル」

4月22日[水]午後2時—3時頃(開場・受付は午後1時30分)

## 「源氏物語絵巻について」\*5月6日と同一内容

4月30日[木]午後2時—3時頃(開場・受付は午後1時30分)

## 「源氏物語絵巻について」\*4月30日と同一内容

5月6日[水・振]午後2時—3時頃(開場・受付は午後1時30分)

- 会期中展示替があります。また、当館には常設展示はございません。
- 展示替のため休館=2026年5月11日[月]—5月22日[金]
- 次回展示=[館蔵]陶芸展 時代を超えた珠玉のやきもの  
2026年5月23日[土]—7月20日[月・祝]

## 公益財団法人 五島美術館

〒158-8510 東京都世田谷区上野毛3-9-25 TEL 050-5541-8600(ハローダイヤル)

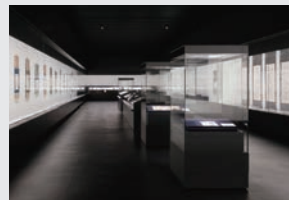
<https://www.gotoh-museum.or.jp/> (五島美術館ホームページ)

## 五島美術館 (ごとうびじゅつかん)

五島美術館は、東急の元会長五島慶太(ごとうけいた 1882~1959)が、半生をかけて収集した日本・東洋の古美術品を根幹に、1960年に開館しました。展示作品は展覧会ごとに変わり、コレクションから各分野の代表作品を紹介、特別展では毎回特色あるテーマを企画しています。2011年には大東急記念文庫と合併し、翌年4月1日より「公益財団法人五島美術館」として歩みを進めています。2017年、本館と庭園内の茶室「富士見亭」「古経楼」が、国の登録有形文化財(建造物)に登録されました。



本館・中庭 (photo by Shigeo Ogawa)



展示室1 (photo by Shigeo Ogawa)



展示室2 (photo by Shigeo Ogawa)

- 開館時間=午前10時—午後5時(入館受付は午後4時30分まで)
- 展覧会と展覧会の間は展示替休館となります。
- 入館料には入園料を含みます。
- 障害者手帳をお持ちの方、ならびに介助者の方1名は200円引。
- 入園のみ(展覧会をご覧にならない場合は1人300円(中学生以下無料))。
- 団体(20名以上1人900円/特別展は別途)は、受け入れを休止することがあります。

## 交通

東急大井町線(各駅停車)「上野毛駅」(かみのげ) 下車徒歩約5分

- 「渋谷駅」から  
東急田園都市線→「二子玉川駅」→東急大井町線(各駅停車)→「上野毛駅」  
東急東横線→「自由が丘駅」→東急大井町線(各駅停車)→「上野毛駅」
- 「東京駅」「品川駅」から  
JR浜東北線→「大井町駅」→東急大井町線(各駅停車)→「上野毛駅」
- 「横浜駅」から  
東急東横線→「自由が丘駅」→東急大井町線(各駅停車)→「上野毛駅」
- 「新横浜駅」から  
東急新横浜線→「日吉駅」→東急東横線→「自由が丘駅」→東急大井町線(各駅停車)→「上野毛駅」

## 上野毛駅からの地図

